

## 姫路市 水道事業

# 令和 6 年度決算と財政状況



### 目次

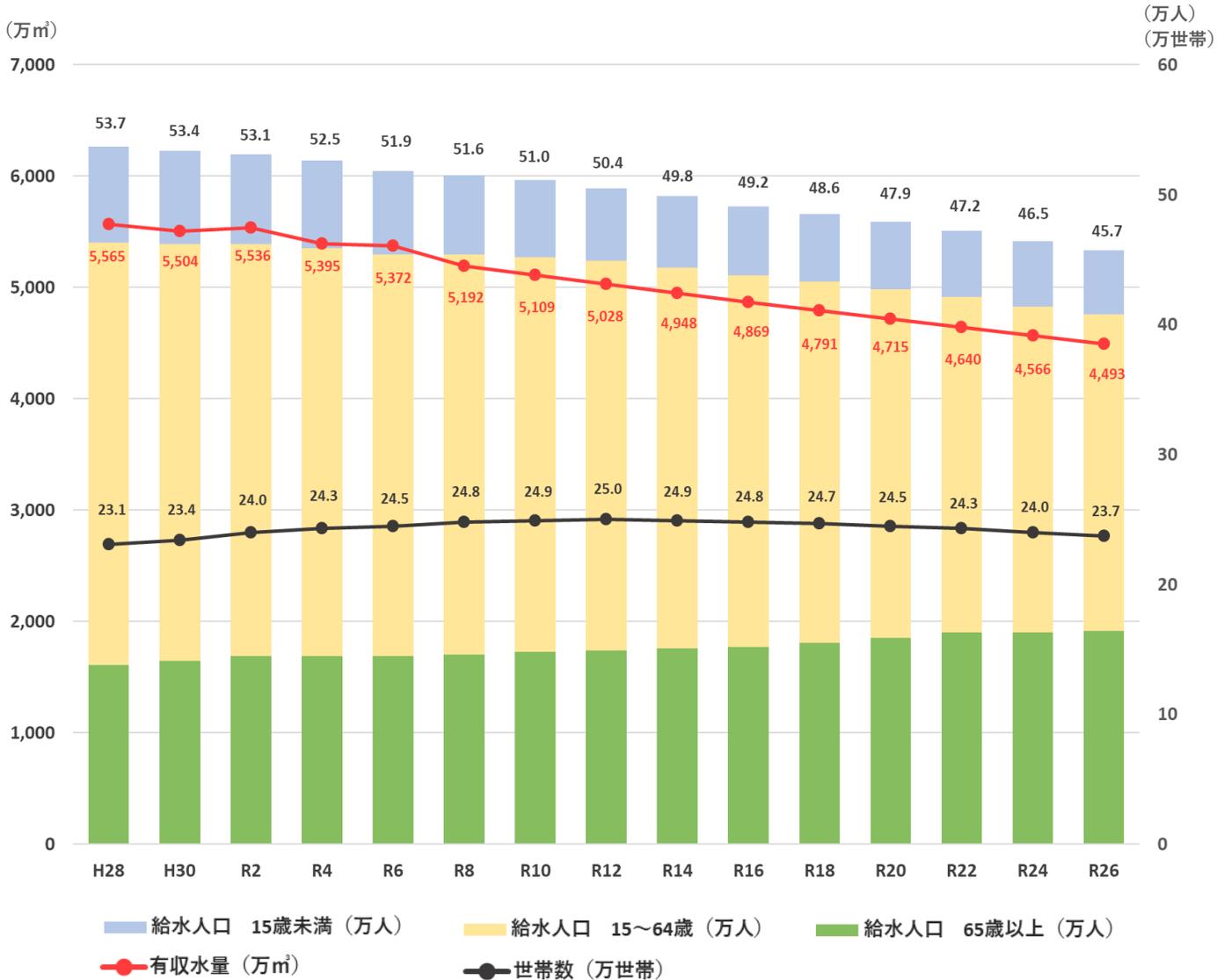
1. 経営の背景
2. 財務諸表
3. 今後の見通し

# 給水人口・有収水量の減少

① 経営の背景

②

③



## ● 給水人口の見通し（2016年～2044年）

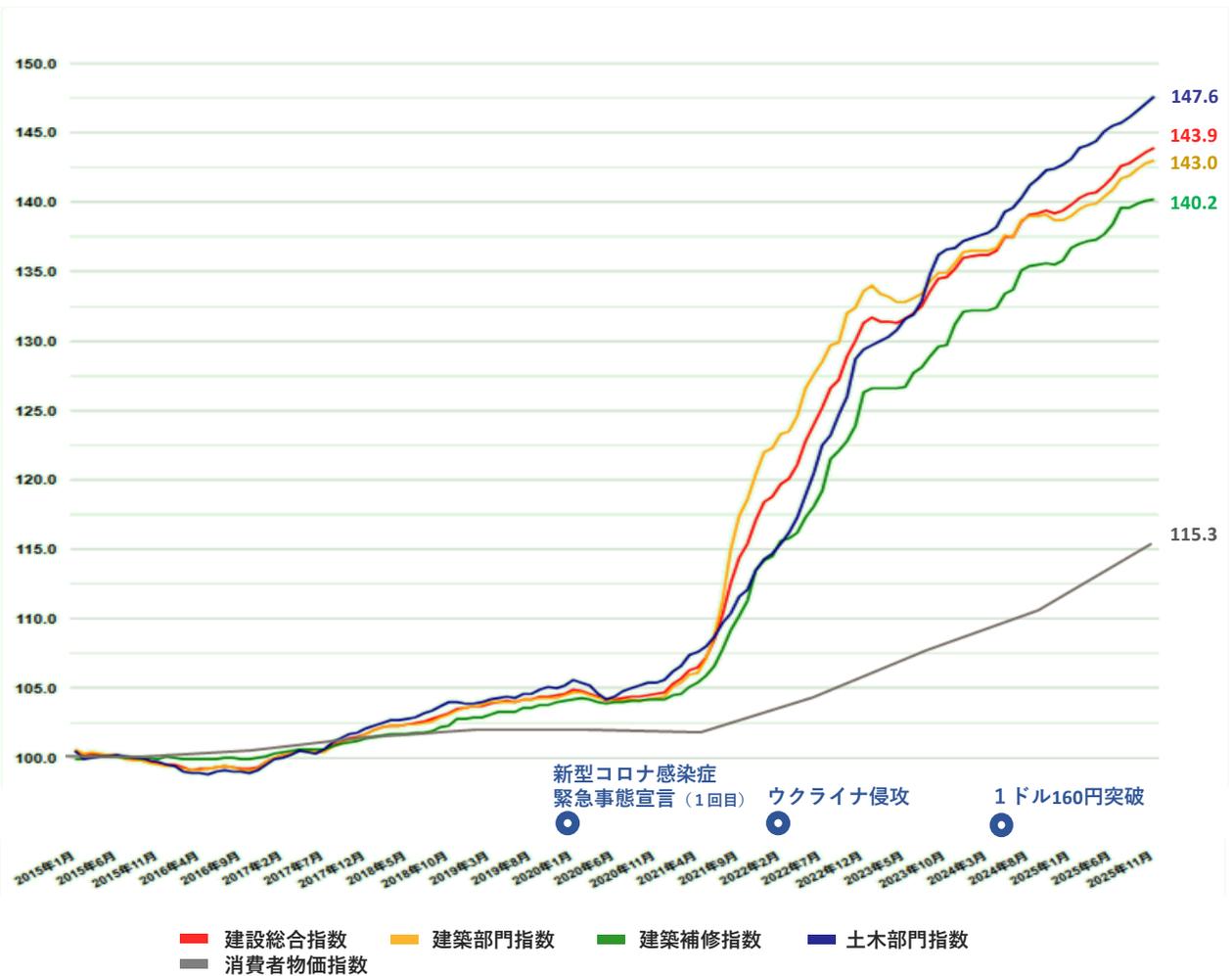
- ・ 令和6年度に51.9万人であった給水人口は、20年後の令和26年度には45.7万人となり、6.2万人減少する※見込み（約12%の減）  
 〔※15歳未満：1.5万人減少    15～64歳：6.5万人減少    65歳以上：1.9万人増加〕

## ● 有収水量の見通し（2016年～2044年）

- ・ 給水人口の減少に加え節水機器の普及、節水意識の高まりに伴い減少していく見通し
- ・ 令和6年度に5,372万m³であった有収水量は、20年後の令和26年度には4,493万m³となり、879万m³減少する見込み（約16%の減少）

## ● 水需要の減少に伴う経営への影響

- ・ 世帯数は人口ほどには減少しないことから、供給の必要性は大きく減少しない
- ・ 水道料金収入減少下においても、将来にわたり一定の資産維持が必要となる
- ・ 施設や管路の更新を先送りすれば一時的に更新需要が減少するが、施設等の健全性が低下することから、世代間の負担の格差が拡大



【出典】建設物価建設資材物価指数®（一般財団法人建設物価調査会）  
消費者物価指数（総務省統計局）

## ● 物価指数の推移（2015年～2025年）

- ・ 2015年の指数を100とした場合の2025年11月時点における各指標の数値は、建設物価指数は建築、建築補修、土木いずれも140%を上回っており、消費者物価指数の115%を大きく上回っている。

※建設資材物価指数：建設工事で使用される資材の総合的な価格動向を明らかにした数値

## ● 物価高騰の要因

- ・ ウクライナ情勢の悪化や急激な円安進行により、原油や鉄鉱石、石炭、銅などの主要な原料価格が高騰
- ・ その影響から資材価格が広範囲かつ大幅に上昇

## ● 今後の見通し

- ・ 価格転嫁未達に加え、エネルギー価格上昇や副資材の値上がりによる継続的な値上げが想定されることから、令和7年2月策定の新水道ビジョンでは令和6年度以降も年平均2～3%の物価上昇見込んでいる
- ・ 引き続き物価の価格動向を注視する必要がある

# 損益計算書

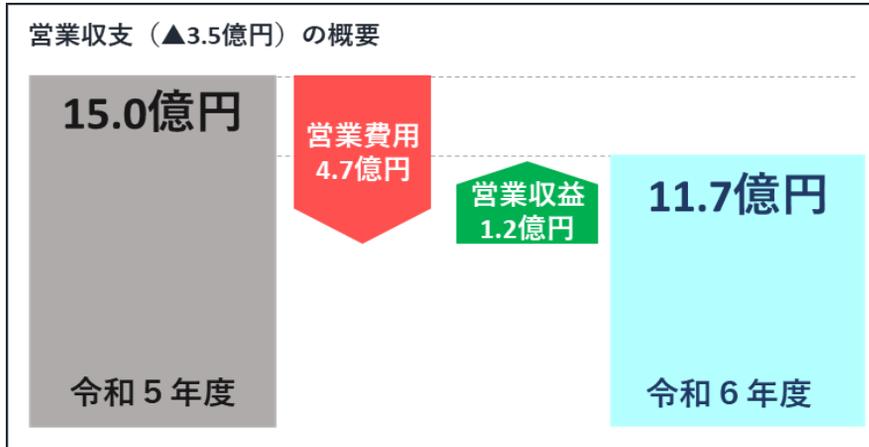
1年間の収益（収入）と費用（支出）を対比し、その差額として利益を示すもの

※ 令和6年4月1日～令和7年3月31日

科 目	令和5年度 (円)	令和6年度 (円)
① 営業収益	104億 7,291万	106億 746万
給水収益	98億 1,989万	99億 3,651万
国・県補助金	0	788万
一般会計繰入金	4,476万	4,243万
その他の営業収益	6億 826万	6億 2,064万
② 営業費用	89億 7,155万	94億 4,225万
維持管理費	56億 9,797万	60億 2,410万
減価償却費及び資産減耗費	32億 7,358万	34億 1,815万
③ 営業利益（△の場合は損失） ①－②	15億 136万	11億 6,521万
④ 営業外収益	9億 5,625万	9億 2,622万
一般会計繰入金（基準内）	953万	832万
一般会計繰入金（基準外）	0	0
長期前受金戻入	9億 1,222万	8億 9,402万
その他の営業外収益	2,450万	2,388万
⑤ 営業外費用	2億 5,636万	2億 6,584万
支払利息	2億 4,784万	2億 5,113万
雑支出	852万	1,471万
⑥ 経常利益（△の場合は損失） ③＋④－⑤	22億 125万	18億 2,559万
⑦ 特別利益	3万	21万
⑧ 特別損失	989万	0
⑨ 当年度純利益 ⑥＋⑦－⑧	21億 9,139万	18億 2,580万
⑩ 前年度繰越利益剰余金	0	0
⑪ その他未処分利益剰余金変動額	0	0
⑫ 当年度未処分利益剰余金 ⑨＋⑩＋⑪	21億 9,139万	18億 2,580万

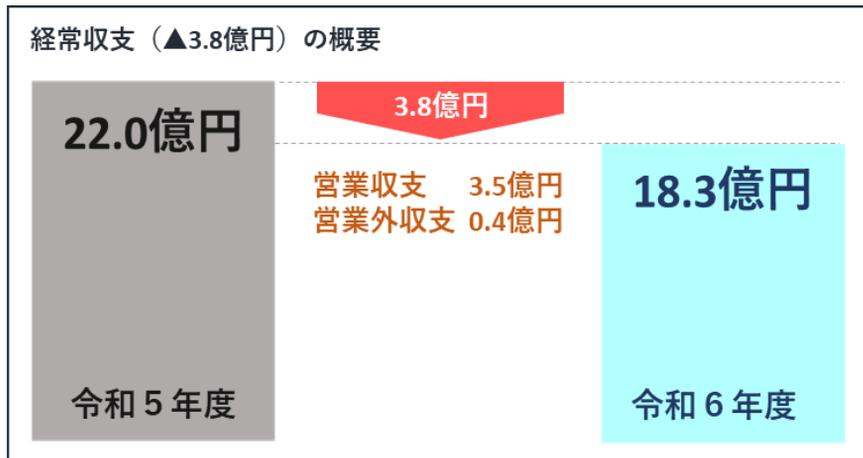
## ● 営業収支 11.7億円の黒字

- 水道サービスを通じて発生した収支は11.7億円の黒字。前年度比で見ると、給水収益の増を維持管理費や減価償却費等の増が上回り、黒字額は3.5億円減少した。



## ● 経常収支 18.3億円の黒字 ※営業収支 + 営業外収支

- 営業外収支を加えた経常収支は18.3億円の黒字。前年度比で見ると、長期前受金戻入の減などにより、営業外収支が0.4億円減となったことで、黒字額は合計で3.8億円減少した。



## ● 当年度純利益 18.3億円 ※経常収支 + 特別損益

- 当年度純利益18.3億円のうち8.9億円は、現金収入がない利益（長期前受金戻入）
- 現金の裏付けのある9.3億円の利益は、建設改良積立金として積立（将来使用）



# 貸借対照表

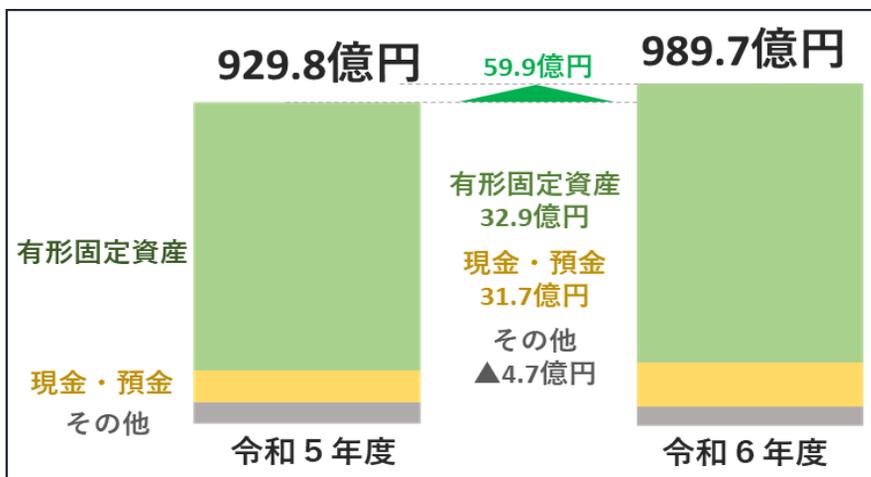
期末時点における、資金の調達状況や運用状況といった財政状態を示すもので、資産、負債、資本から構成される

※ 未処分利益剰余金等処分後

科目	令和5年度(円)	令和6年度(円)	科目	令和5年度(円)	令和6年度(円)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>固定資産</b>	<b>805億 4,038万</b>	<b>838億 1,654万</b>	<b>固定負債</b>	<b>196億 642万</b>	<b>208億 2,736万</b>
有形固定資産	775億 812万	807億 9,896万	企業債	179億 8,136万	192億 2,981万
土地	24億 719万	24億 719万	引当金	16億 2,506万	15億 9,755万
償却資産	1,661億 9,556万	1,716億 8,303万	退職給付	11億 1,291万	11億 205万
減価償却累計額	△938億 5,294万	△957億 8,408万	特別修繕	5億 1,215万	4億 9,550万
建設仮勘定	27億 5,831万	24億 9,282万	<b>流動負債</b>	<b>31億 4,748万</b>	<b>57億 1,515万</b>
無形固定資産	1億 7,198万	1億 5,606万	企業債	11億 8,044万	12億 5,156万
投資その他の資産	28億 6,028万	28億 6,152万	未払金	15億 4,197万	39億 8,215万
投資有価証券	20億	20億	引当金	2億 8,837万	3億 4,471万
基金	8億 6,028万	8億 6,152万	賞与等	8,437万	8,511万
出資金・貸付金	0	0	特別修繕	2億 400万	2億 5,960万
<b>流動資産</b>	<b>124億 3,891万</b>	<b>151億 5,544万</b>	その他流動負債	1億 3,670万	1億 3,673万
現金・預金	94億 7,374万	126億 4,298万	<b>繰延収益</b>	<b>188億 2,035万</b>	<b>187億 2,027万</b>
未収金	21億 0,079万	19億 1,231万	長期前受金	478億 9,283万	486億 1,513万
貸倒引当金	△5,425万	△5,190万	収益化累計額	△292億 1,609万	△299億 3,324万
貯蔵品	1億 1,939万	1億 284万	長期前受金仮勘定	1億 4,361万	3,838万
その他流動資産	7億 9,924万	5億 4,921万	<b>負債合計</b>	<b>415億 7,425万</b>	<b>452億 6,278万</b>
<b>資産合計</b>	<b>929億 7,929万</b>	<b>989億 7,198万</b>	<b>(資本の部)</b>		
			<b>資本金</b>	<b>423億 0,577万</b>	<b>436億 9,636万</b>
			<b>剰余金</b>	<b>90億 9,927万</b>	<b>100億 1,284万</b>
			資本剰余金	1億 7,456万	1億 7,456万
			利益剰余金	89億 2,471万	98億 3,828万
			<b>資本合計</b>	<b>514億 0,504万</b>	<b>537億 920万</b>
			<b>負債・資本合計</b>	<b>929億 7,929万</b>	<b>989億 7,198万</b>

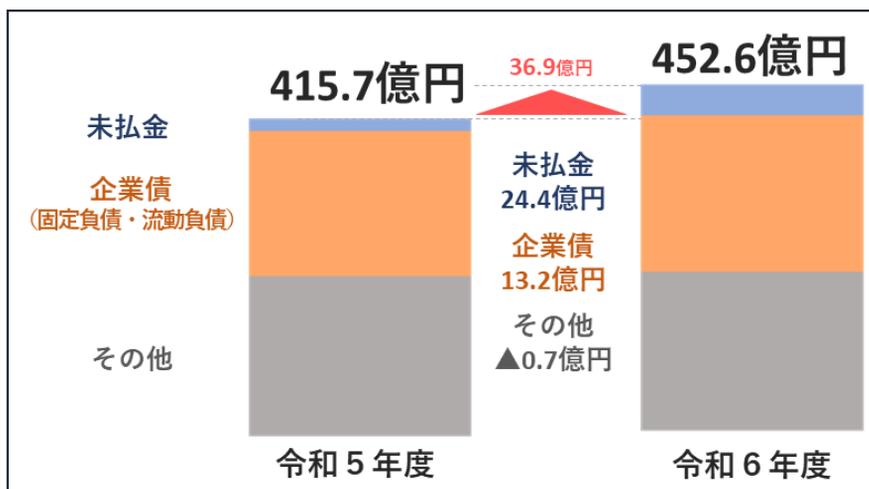
## ● 資産の部 前年度比 59.9億円の増

・建設改良等の投資による有形固定資産の増や、現金・預金の増等により、前年度より増加



## ● 負債の部 前年度比 36.9億円の増

・企業債や未払金の増等により、前年度より増加



## ● 資本の部

・利益剰余金のうち、現金の裏付けがあるものを建設改良積立金として積み立てており、令和6年度決算時点で建設改良積立金は89.4億円



# キャッシュフロー計算書

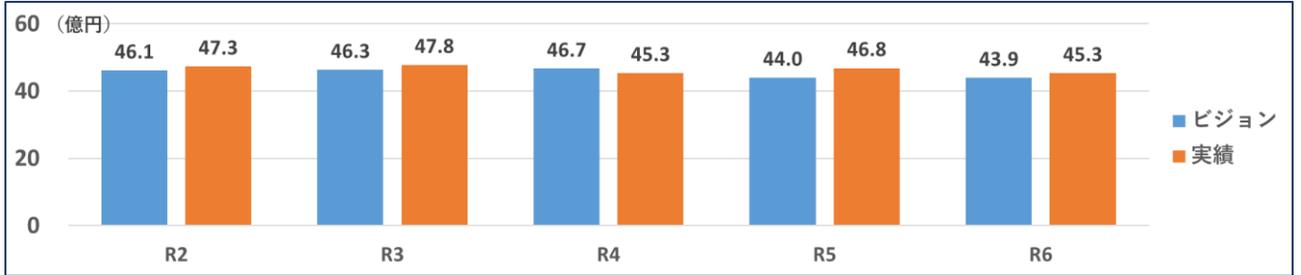
1年間の現金（キャッシュ）の動きを把握するためのもの

※ 令和6年4月1日～令和7年3月31日

科 目	令和5年度 (円)	令和6年度 (円)
<b>① 業務活動によるキャッシュ・フロー</b> (水道サービスでどれだけ現金を生み出したかを示す指標)		
当年度純利益	21 億 9,139 万	18 億 2,580 万
減価償却費等及び長期前受金戻入	23 億 6,136 万	25 億 2,413 万
減損損失	989 万	0
各種引当金の増減額	3,564 万	2,443 万
業務活動による未収金の増減額	△2,097 万	1,058 万
業務活動による未払金の増減額	1 億 5,074 万	1 億 2,064 万
その他	△4,436 万	2,493 万
	<b>46 億 8,369 万</b>	<b>45 億 3,051 万</b>
<b>② 投資活動によるキャッシュ・フロー</b> (投資活動による現金の出入りを示す指標)		
固定資産の取得・売却	△54 億 7,330 万	△39 億 7,893 万
国庫補助金、分担金等による収入・支出	4 億 7,665 万	6 億 685 万
投資活動による収入・支出	△47 万	△124 万
その他の収入・支出	0	0
	<b>△49 億 9,712 万</b>	<b>△33 億 7,332 万</b>
<b>③ 財務活動によるキャッシュ・フロー</b> (営業活動や投資活動のための資金調達や償還による現金の出入りを示す指標)		
建設改良企業債による収入	18 億	25 億
建設改良企業債の償還による支出	△12 億 1,651 万	△11 億 8,044 万
他会計からの出資による収入	5 億 0,794 万	6 億 9,250 万
	<b>10 億 9,143 万</b>	<b>20 億 1,206 万</b>
<b>資金増減額</b>	<b>7 億 7,800 万</b>	<b>31 億 6,925 万</b>
<b>資金期首残高</b>	<b>86 億 9,574 万</b>	<b>94 億 7,374 万</b>
<b>資金期末残高 (資金増減額 + 資金期首残高)</b>	<b>94 億 7,374 万</b>	<b>126 億 4,299 万</b>

## ● 業務活動によるキャッシュフロー

- 改定前ビジョンの5年間累積予定額227.0億円に対し、実績は232.6億円となり、5.6億円のプラス



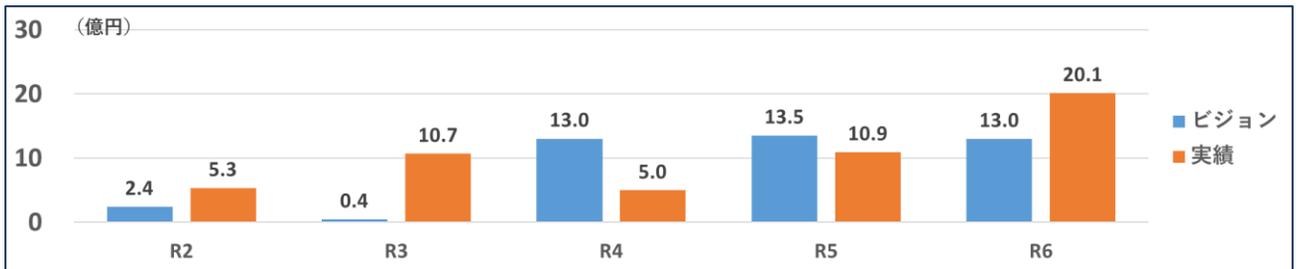
## ● 投資活動によるキャッシュフロー

- 5年間の累積額は、改定前ビジョン予定に対して実績は60.5億円のプラス
- 甲山浄水場の更新時期の変更等により、実績がビジョンの投資計画を下回ったことが主な要因



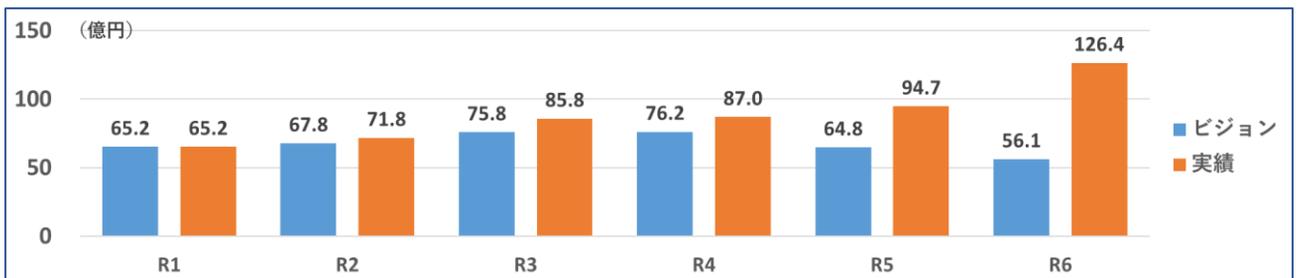
## ● 財務活動によるキャッシュフロー

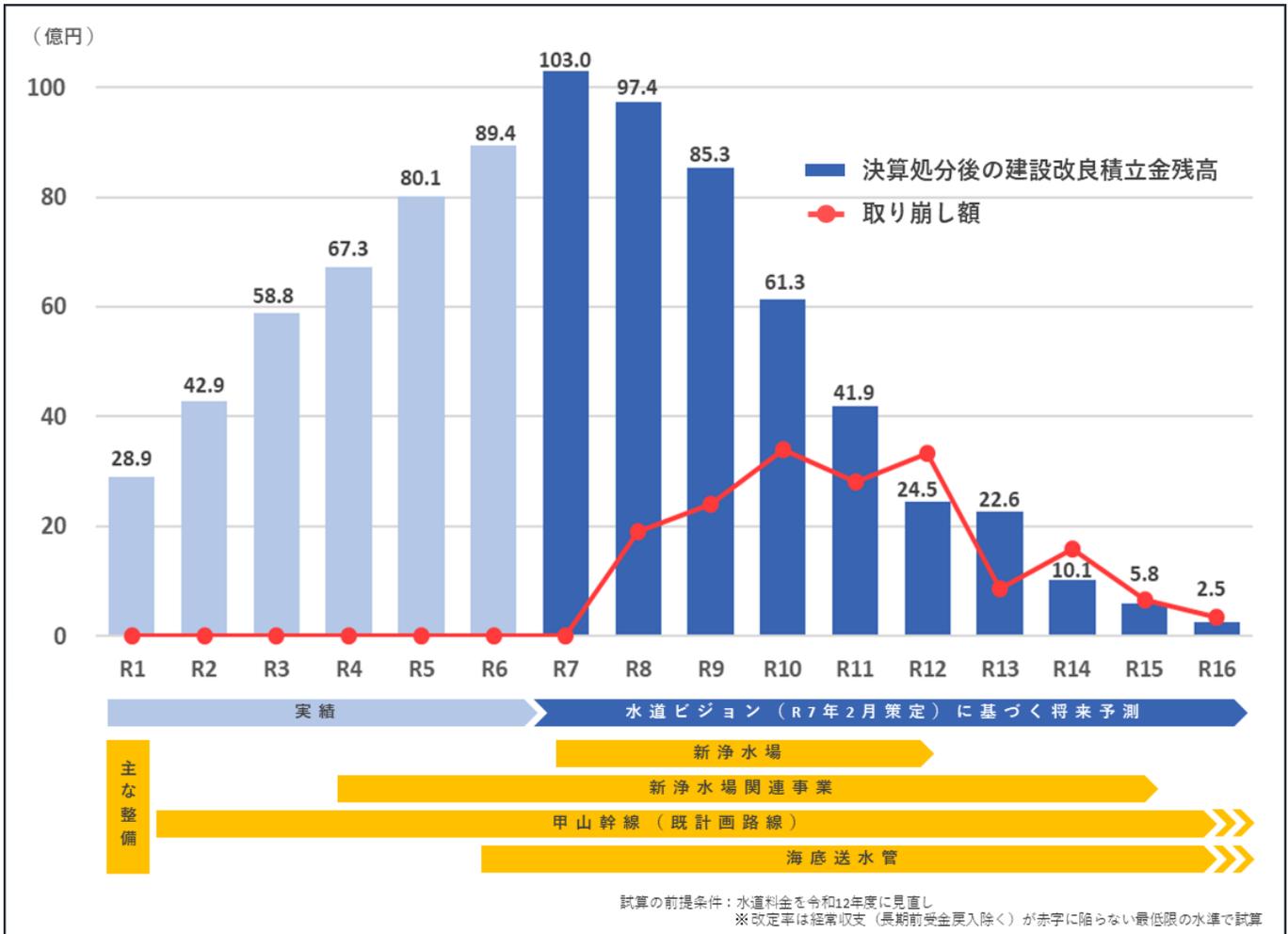
- 5年間の累積額は、改定前ビジョン予定に対して実績は9.5億円のプラス
- 企業債を4億円多く発行したこと、他会計出資金を5.5億円多く受けたことによる



## ● 資金期末残高の推移

- 5年間累積で資金残高は61.2億円増加（改定前ビジョン予定：9.1億円減少 ※差額70.3億円）
- 改定前ビジョンの投資計画と実績との差によって生じた資金については、建設改良積立金に計上しており、新ビジョンにおいて将来の投資事業に使用することを定めている





## ● 建設改良積立金

- ・ 将来の建設・改良工事等に要する資金に充てるため、利益（黒字）を積み立てたものであり、一般家庭における「貯金」にあたるもの

## ● 建設改良積立金のこれまでの推移（2019年～2024年）

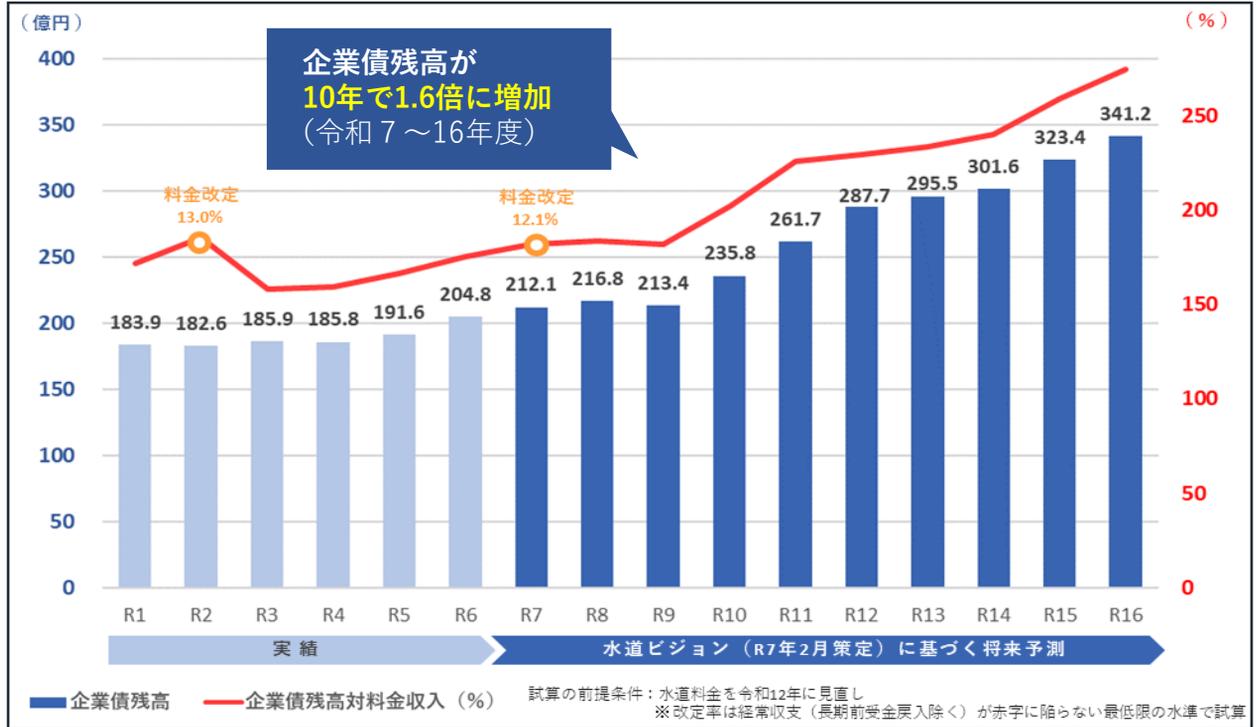
- ・ 甲山浄水場更新事業における新浄水場の建設費用等に充当するため、令和元年度から令和6年度にかけて建設改良積立金を60.5億円積み増し

## ● 建設改良積立金の今後の見通し（2025年～2034年）

- ・ 令和7年度から着工した甲山浄水場更新事業などにかかる経費の支払に充てるため、令和8年度から建設改良積立金を徐々に切り崩す予定
- ・ 令和16年度に2.5億円まで減少する見通し（令和6年度から86.9億円の減）
- ・ 海底送水管の更新事業の進捗などに伴い、令和16年以降も投資経費は高い水準となる

## ● 企業債残高の見通し（2019年～2034年）

- ・新浄水場の整備をはじめとした投資事業費が増加する予定であり、料金改定を行わない場合は、投資財源を確保するために企業債の発行額を増額していく必要がある
- ・経営の健全性を確保するため、企業債残高はその年の水道料金収入の300%相当額を超えないこととしており、令和12年度以降も料金改定の検討が求められる



## ● 支払利息の増加（2019年～2034年）

- ・今後、企業債残高の増加により支払利息も増加するが、令和7年2月策定の新水道ビジョンで想定する金利よりも大きく金利上昇する場合は、水道事業はより一層厳しい経営環境を迎えることが想定される
- ・支払利息の上昇が続く場合、企業債発行の抑制等も今後検討する必要がある

